松源寺通信 第1号　平成26年（2014年）正月

永松だより

松源寺開創500年
平成33年・2021年

みなさまのお知恵とお力を合わせていただき　この佳きめぐりあわせを寿ぎましょう

新春のごあいさつ

大蔵山松源寺第三十五世　東海　泰典

新年明けましておめでとうございます。

今年は午年です。颯爽と駆ける馬のように、松源寺開創五〇〇年をお迎えするスタートとして、年の始めに寺報を作りました。『松源寺通信 ― 永松だより』として、檀信徒の皆様方に第一号をお届けします。

松源寺は開創一五二一年と伝えられています。二〇二一年、七年後の平成三十三年に開創五百年を迎えることになります。それまで様々な行持を行って参ります。この祈念すべき勝縁に感謝し、皆様方と共に心よりお祝いをしたいと願っています。

また昨年秋にご案内致しました、大本山總持寺二祖峨山韶碩禅師六五〇回大遠忌に向けた内容のパンフレット配布と篤志のご寄付をお願い致しました。多くの檀信徒の皆様方から貴重な浄財をお送りいただいております。誠に有難く御礼申し上げます。

松源寺　本堂

さて、本年も様々な行持を予定しています。平成二十一年に大本山總持寺参拝を行い、再開された旅行会は、昨年は大本山永平寺へお参りしました。今年も旅行の計画を致しておりますので、広く皆様方にご参加を頂きたいと存じます。尚、大本山参拝は五年毎に總持寺、永平寺で計画しています。次回、平成三十年の大本山参拝は總持寺へのお参りを予定しています。現在、私の弟子（息子）は宗門大学である駒澤大学の仏教学部一年生です。平成三十年は本山修行の頃になりますので、皆様に励まして頂ければと考えています。

松源寺の婦人部では、地蔵尊供養と観音堂ご開帳供養、併せて二回の研修会と懇親会を行っています。随時会員募集中です。ご参加をお待ちしています。特に秋の観音堂ご開帳供養の際には、著名な方をお招きし講演、歌、落語などの催しを行っていますので、地域の方々にもお声がけ頂き、ご参加いただいています。

これからも定期的に『永松だより』をお送りしますので、是非ご覧いただきたいと存じます。

新春を寿ぎ、皆様のご健勝と平安をお祈りします。

今年の行持予定

1月1日～3日　三朝祈禱
2月15日　釈尊涅槃会
3月11日　東日本大震災法要（朗読会）
3月18日～24日　春彼岸
4月8日　釈尊降誕会
4月　松源寺婦人会総会
5月　永松会総会
（未定）　松源寺研修旅行
7月　第一教区護持会研修会
8月13日～15日　盂蘭盆会
8月14日　大施食会
9月20日～26日　秋彼岸
9月26日　第一教区萬灯会法要　圓福寺（石名坂）
10月　婦人会研修会
（未定）　第一教区護持会研修旅行
11月4日　祠堂講法要
12月8日　釈尊成道会

めでたし

永松会の竹丸寅夫氏が、昨年『旭日双光章』を受章されました。

永松会員紹介

佐藤　正三　竹丸　寅夫
高橋　金雄　太田　守
木皿　喜吉　丹野　勝雄
伊藤　祐之　小崎　正隆
三浦　信久　松屋　茂行

教えてください

松源寺誕生から現在までのあゆみを!!

意外に少ない松源寺の歴史記録

＊禅の小窓1＊本来無一物＊

探し訪ねて　松源寺の御縁

松源寺は平成三十三年（二〇二一年）に開創五〇〇年を迎えます。そこで、松源寺はどのようなお寺さんなのか調べてみようと思い文献を探してみましたが、松源寺について書かれた文書は実に少ないのです。調べ方が足りないのかもしれません。

そこで、お檀家の皆様のところに、松源寺に関する書物、手紙、書きつけ、などは無いでしょうか。いちど、身の回りや……諸々のところをお探しいただければありがたいと思います。そして「このようなものが有りますよ」「こんな事を聞いたよ……」と教えてください。開創五百年までに、「松源寺縁起」作成を目途に、鋭意取材中ですので、皆様のご協力をよろしくお願いします。寄せられた情報は、「永松だより」でご紹介する予定です。今回は『金剛宝山輪王寺五百五十年史』をご紹介します。（蕃山房）

❖　❖　❖

大蔵山　松源寺
仙台市青葉区土樋一―六―三〇
現在　三十四世　智貫孝善師
開創　大永元年（一五二一）
開山　輪王寺四世　大光元可大和尚
（二世　日山玉恵大和尚）
開基　白河義綱
重興　三十三世　智山良孝大和尚

縁起・沿革

大永元年（一五二一）、白河氏の創立で、初め岩代国白河郡にあった。輪王寺四世大光元可の開山。天正年中、豊臣秀吉が白河の地を没収したため、伊達正宗は白河七郎義親を一家に準じて輩下に収めた。寺もまた、十世劫外和尚の時、義親の子、義綱を開基として現在地に移った。

『金剛宝山輪王寺五百五十年史』（平成六年）

「永松閣」
扁額製作風景

当山の庫裡会館は昭和59年に皆様方のご寄付により落慶致しました。あれから30年経過致しております。日頃はお葬儀後の会食や年回法要のお席としてご活用いただいております。しかし、近年は葬儀社会館でのお勤めが増え年回法要のご法事が少なくなり、庫裡会館の使用がめっきり減ってまいりました。そこで庫裡の活用を檀信徒の皆様や地域方の研修の場として利用していくことを考えました。この庫裡大広間の名前を「永松閣」として研修道場といたします。この名前の表額を、宮城県多賀城出身の元大本山總持寺貫首をお勤めで現在福井県武生市の御誕生寺ご住職の板橋興宗禅師さまにご揮毫頂きました。松源寺にご来山の折には、是非ご一見ください。

第2号は5月発行予定です

松源寺通信―永松だより
発行所　蕃山房
〒980-0801
仙台市青葉区木町通一丁目1-11
朝日プラザ北一番丁1階106B
電話　090-8250-7899
FAX　022-224-5308

＊情報のご提供、ご意見、ご質問などは、蕃山房にお寄せくださいますようお願い申し上げます。